

中村屋サロンアーティストストーリー第1回

新恵美佐子展「花」

2018年3月3日[土]～4月8日[日]

中村屋サロンアーティストストーリー第1回

染谷聡「あめのふる穴」

2018年4月14日[土]～5月13日[日]

ARTISTS RELAY

ARTISTS RELAY

中村屋サロン 美術館
NAKAMURAYA SALON Museum of Art

《助成》TERUMO Arts & Crafts Project
中村屋サロン 美術館
NAKAMURAYA SALON Museum of Art

2018年3月3日(土)~4月8日(日)

新恵 美佐子 展 「花」

生命の無限感漂う、インドの文人 タゴールの詩のイメージをもとに、万物の存在を成り立たせている「間」=「目に見えない境界」を、或る「かたち」にする仕事を続けてきた。それは「見逃せない絵画」、「漂泊するかのようになかなものではない世界」を表す。テーマである「花」は、繰り返す生命、一時として同じかたちをとどめる事がない無常の象徴である。(新恵美佐子)

新恵美佐子 略歴

- 1963 大阪府生まれ
- 1987 多摩美術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
- 1989 多摩美術大学大学院美術研究科修了
- 1998 渡印(ポーラ美術振興財団、平成9年度在外研修)
- 2016 文化庁新進芸術家海外研修制度 特別派遣インド

主な個展・展覧会

- 1993 個展 史水画廊(東京)
- 2004 個展 Lalit Kala Akademi (ニューデリー、インド)
『第2回東山魁夷記念 日経日本画大賞展』ニューオータニ美術館(東京)
- 2005 『POLA新鋭展 2005 花のメタファー』ポーラミュージアムアネックス(東京)
- 2010 『ゲンダイビジュアル道』練馬区立美術館(東京)
- 2017 『日本画山脈—再生と革新—逆襲の最前線—』新見美術館(岡山) 他

受賞

- 2002 第4回天竜川絵画公募展 一準大賞
- 2005 第3回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展 明日の日本画を求めて—星野真吾賞—



新恵美佐子 作品

- 右:「firework」2016年
顔料、アクリル、クレヨン、キャンバス
55.0×60.0cm
- 右下:「花漂」2016年
顔料、アクリル、キャンバス
60.0×60.0cm
- 下:「花」2011年
墨、宣紙 131.0×264.8cm
- 表面:「揺籃」(部分) 2017年
顔料、墨、アクリル、キャンバス
230.0×1040.0cm



ワークショップのご案内

墨絵を描く

墨の濃淡、かすれやにじみなど水墨画の独特で美しい表現技法を学びながら、自分だけの作品をつくり、奥深い水墨画の世界を楽しみます。

【日時】 3月27日(火) *火曜は休館ですがワークショップのみ開催
第1回 10:00~13:00 / 第2回 14:30~17:30

*要入館料、別途材料費 500円

*定員 各回12名(応募者多数の場合は抽選)

*往復はがきによる事前申込が必要です。

詳細は決まり次第、中村屋サロン美術館のHPに掲載いたします。

2018年4月14日(土)~5月13日(日)

染谷 聡 「あめのふる穴」

漆は「深遠な素材」だ。僕はそこから日本の文化や風土、美意識などを学ぶことで漆を多角的にとらえ、「加飾」という行為を通じ、漆のあり方を探求してきた。本展では「うつわ」という言葉について改めて考えてみる。明確な用途を持たないうつわはその「受け入れるもの」を、寄り添う素材や見る人の情から紡ぎ出す。(染谷 聡)

ワークショップのご案内

中村屋の菓子模様をうつす

「模様」についてのトークとワークショップのイベント。
漆にまつわる模様のはなしと漆絵菓子盆の制作をとおして、模様のおくゆかしさを楽しむ。

【日時】 5月1日(火) 13:30~17:00 *火曜は休館ですがワークショップのみ開催

*要入館料、別途材料費 2,000円

*定員 12名(応募者多数の場合は抽選)

*往復はがきによる事前申込が必要です。

詳細は決まり次第、中村屋サロン美術館のHPに掲載いたします。

染谷 聡 略歴

- 1983 東京都生まれ
- 2006 京都市立芸術大学美術学部工芸科漆工専攻卒業
- 2008 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士前期課程修了
- 2014 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了 博士号(美術)取得



写真: Harumichi SAITO

主な個展・グループ展

- 2009 『装飾の力』東京都国立近代美術館工芸館(東京)
- 2011 『ZIPANGU展—31人の気鋭作家が切り拓く現代日本のアートシーナー—』高島屋(東京日本橋本店、大阪難波店、京都店)
- 2013 個展『咀嚼する加飾』imura art gallery(京都)
- 2016 『5 Rooms』神奈川県民ホールギャラリー(横浜)
- 2017 『今様—昔と今をつなぐ—』松濤美術館(東京)
『見立てと想像力—千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ展—』旧淳風小学校(京都)

受賞

- 2014 「漆芸における形態・文様・プロセスの考察—咀嚼する加飾—」京都市立芸術大学博士論文「梅原賞」
- 2014 京都市芸術新人賞



染谷聡 作品
上:「みしき」2016年 漆、石、螺鈿、乾漆技法など
W 8.0×D 6.0×H 6.0cm 写真: takeru koroda
左:「みしき」2016年 漆、枝、螺鈿、鉛、乾漆技法など
W 9.0×D 1.1×H 15.0cm 写真: takeru koroda
右:「みしき」2016年 漆、枝、乾漆技法など
W 11.0×D 3.5×H 4.0cm 写真: takeru koroda
表面:「森の中の森」(部分) 2016年
漆、金、銀、真鍮、鹿の角、木、乾漆技法など
W 40.0×D 23.0×H 38.0cm 写真: takeru koroda

中村屋サロン アーティストリレー 第1回



「中村屋サロン アーティストリレー」は本年より開催する、作家の紹介でつなぐ展覧会です。明治末から昭和初期にかけて、新宿中村屋には彫刻家・荻原守衛(碌山)や画家の中村彝、書家の會津八一を中心に、人と人、心と心のつながりにより、多くの芸術家たちが集いました。その様子は後に「中村屋サロン」と称され、日本近代美術史に名が刻まれています。本展ではその事象を作家同士のリレーという形で今に表すとともに、新進芸術家に発表の場を提供いたします。初回は新宿中村屋にゆかりのある2名を当館で選出しました。毎年2名の芸術家が、それぞれのバトンを次の芸術家に手渡し、中村屋サロンのように芸術家たちのつながりを広げていきます。

INFORMATION

- 開館時間 10:30 ~ 19:00 (18:40最終入館)
- 休館日 火曜日
- 入館料 共通入場券 500円、単独入場券 300円
※高校生以下および障がい者とその同伴者1名は証明書提示で無料
- アクセス <JRをご利用の方> 新宿駅東口から徒歩2分
<東京メトロ丸ノ内線をご利用の方> 新宿駅A6出口直結
※駐車場はございませんのでご了承ください
- 住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目26番13号
新宿中村屋ビル3階
- 電話 03-5362-7508
- Eメール museum@nakamura.co.jp
- URL http://www.nakamura.co.jp/museum/

中村屋サロン 美術館

NAKAMURAYA SALON Museum of Art

